

2022年度年間指導計画

【1歳児】		園長		主任		担任			
年間目標 (育てたい子どもの姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・保健的で安全な環境の確保と個々に応じた関わり方をすることで快適に過ごせる様にする。 ・生理的欲求や依存欲求を満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。 ・手助けをすることで身の回りの事を自分でしようとする気持ち育てる。 ・手助けをすることで友だちとの関わり、遊びの中での言葉のやり取りを楽しむ。 ・歩行の完成と運動機能の発達を促し、外界に対する興味、関心を育てる。 		園目標	<ul style="list-style-type: none"> ・元気で明るい子(たっぷり遊んで、よく食べて、ぐっすり眠る) ・意欲を持って行動できる子(十分に育ちを見守られながら、さまざまな体験を通して、豊かな感性を育てる) 		評価・反省			
期	1期(4月～5月)		2期(6月～8月)		3期(9月～12月)		4期(1月～3月)		
行事	入園式・進級式、誕生会、こいのぼり集会、内科検診、避難訓練		懇談会、誕生会、水遊び、七夕、夏祭り、歯科検診、避難訓練		お月見、クリスマス会、内科検診、運動会、誕生会、避難訓練		節分集会、ひなまつり会、お別れ会、生活発表会、誕生会、避難訓練		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境に慣れ、安心して過ごす。 ・保育者や友だちと一緒に過ごす心地よさを感じる。 ・身の回りの様々なものに興味を持ち、関わろうとする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・水や砂などの感触を楽しみ、夏ならではの遊びに興味を持つ。 ・保育者や友だちに関心をもち、遊びを真似、見立て遊びを楽しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な身の回りの事を自分でしようとする。 ・遊びや生活を通して、友達との関わりを楽しむ。 ・秋の自然に触れながら、室内外で全身を使って遊ぶ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちを言葉や態度で伝え、友だちとの関りの中で楽しく遊ぶ。 ・自分で出来る事が増え、身の回りの事を意欲的に行う。 		
養護	生命情緒	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者との1対1の関りを深めながら、安心して自分の気持ちを表し、信頼関係を築いていく。 ・個々のリズムに合わせた生活環境の中で、快適に過ごす。 ・適度な疲労感や心地良い雰囲気の中で安心して眠る。 ・簡単な言葉や表情、身振りで、自分の気持ちを保育者に伝えようとする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・こまめに水分補給し、シャワーで汗を流す気持ちよさを感じたり、休息を十分にとり入れながら、無理なく過ごす。 ・物の取り合いが起こった時には、保育者が代弁したり、仲立ちするなどして、貸し借りを経験していく。 ・簡単な言葉や、表情、身振りで、自分の気持ちを保育者に伝えようとする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・季節の変わり目による体調の変化に十分に注意してもらいながら、手洗いなどを進んで行い、健康に過ごす。 ・「自分で」という気持ちを大切に、保育者に見守られながら達成することで「できた」時の満足感、嬉しい気持ちを共有する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・体調に留意しながら寒い時期を健康に過ごす。 ・「やってみよう」「やって欲しい」など、それぞれの思いに寄り添ってもらい主体的に身の回りの事に取り組もうとする。 ・自分で手を洗ったり顔や口を拭いたりしてきれいになることを喜ぶ。 	
教育	健康 人間関係 環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆったりとした心地よい雰囲気の中で安心して眠る。 ・オムツ替えや着替えをして、気持ちよさを感じ、快適に過ごす。 ・保育者や周りにいる友だちと、親しみのある歌や手遊びに合わせて、体を揺らして、楽しむ。 ・春の草花や虫などに触れながら、探索活動を十分に楽しむ。 ・「どうぞ」「ありがとう」などのしぐさや言葉を、遊びのやり取りの中で保育者と楽しむ。 ・保育者に見守られ、自由に動き回ったり、1人遊びを十分に楽しんだりする。 ・保育者や友だちと一緒に過ごす中で、人や物に興味をもってかかわろうとする。 ・してほしいこと、したいことを表情や指差し、動作・一語分などで表す。 ・トイレに興味を持ち、便座やオマールに座ってみようとする。 ・ハイハイやつかまり立ち、伝い歩き等をし、体位により見える視界の違いを楽しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・散歩先や園庭、室内で、風船やボールなど様々な玩具を使い、全身を動かして遊ぶ。 ・オムツが汚れた不快感を感じ、しぐさや簡単な言葉を伝えようとする。 ・自分のマークを覚え、帽子やエプロンを取り出したり、しまおうとする。 ・友だちのしていることに興味を持ち、真似して遊ぼうとする。 ・保育者とやり取りをしながら、見立てたり、つもりになったりして遊ぶ。 ・親しみのある絵本や紙芝居の言葉の繰り返しを楽しむ。 ・シャワーや水遊び、泥遊び、泡あそびを楽しみ、気持ちよさや解放感を味わう。 ・排泄の前後でオムツやズボンの脱ぎ着をしようとする。 ・粘土、小麦粉、片栗粉、こおり水など色々な素材を使った感触あそびを楽しむ。 ・保育者と関わる中で言葉を覚え、要求や自分の気持ちを簡単な言葉で伝えようとする。 ・クレヨンや水性ペンを使ってなぐり描きをしたり、シールを貼ったりなど手先を使った遊びを楽しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・保育者の援助や言葉掛けのもと、靴や靴下を自分で履こうとしたり、簡単な着脱をしようとする。 ・保育者に見守られながら、友だちと同じ遊びを楽しむ。 ・散歩などで、でこぼこ道や坂道などを歩き、草花や虫など秋の自然の様子を感じる。 ・渡ったり登ったり降りたり、好きな玩具に関わり、全身を使って遊ぶ事を楽しむ。 ・好きな絵本を読んでもらう事を喜び、絵本を保育者のもとに持ってきたり「よんで」と言葉で伝えようとする。 ・クレヨンや水性ペンを使ってなぐり描きをしたり、シール貼りなど手先を使った遊びを楽しむ。 ・遊びを通して異年齢児との関わりを楽しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・手洗いなど、冬の健康に必要な習慣を身につけ元気に過ごす。 ・保育者に誘われたり、自らトイレに行き、保育者が見守る中便器に座り、排泄する。 ・好きな遊びをじっくり楽しみ、友だちと一緒に遊ぶ事を喜ぶ。 ・雪や霜柱などに触れたり、見たりしながら、冬の季節を感じて遊ぶ。 ・保育者の仲立ちのもと、友だちに自分の思いを伝えようとする。 ・自分の気持ちを少しずつ言葉で表し、友だちと同じ遊びを楽しむ。 ・保育者と言葉のやりとりを楽しんだり二語文でも伝えようとする。 ・気の合う友だちや異年齢児に関心をもち関わろうとする。 ・保育者や友だちと歌を歌ったり手作り楽器を鳴らしたりして遊ぶ。 	
		環境構成と配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの発達や様子に合わせ玩具の準備や環境設定を行い、休息をしっかりと取りながら遊べる様にする。 ・一人ひとりの生活リズムを把握し、子どもの要求や不安な気持ちを受け止め、信頼関係を築くようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・保育者も一緒に見立てや模倣遊びを楽しむことでイメージやすく、遊びが豊かな物に ・クレヨンや水性ペンを使ってなぐり描きをしたり、シール貼りなど指先を使った遊びを楽しむ。 ・自己主張が強くなり、物の取り合いが起きたり、噛みつきが増える時期だということを理解し、職員の配置や環境設定に配慮する。 ・子どもの気持ちや伝えたいことを言葉にして返し、言葉の表現へとつなげていく。 ・個々の排泄のタイミングや様子に応じて、トイレへ誘い、トイレで出した喜びを共有し、楽しい雰囲気での排泄を心掛ける。 		<ul style="list-style-type: none"> ・成長に伴い、行動範囲が広がるので、子どもの動きを予測しながら、安心、安全な環境を整える。 ・自分でしようとする気持ちを大切に、さりげない援助で達成感や自分でできた喜びを味わえるようにしていく。 ・保育者も一緒に、曲に合わせて止まったり動いたりリズムに合わせて体を動かすことで楽しさ面白さを知らせていく。 		<ul style="list-style-type: none"> ・同じ玩具を複数用意したり、十分な場所の確保するなどして、一緒に遊べる空間を作る。 ・自我の育ちを見守り、身の回りのことをしたい気持ちを受け止めて言葉をかけたり、褒めて意欲や自信へとつなげる。 ・片言に共感したり簡単な言葉のやりとりを楽しんだりして言葉数がより増えていくよう関わる。 ・子どもの興味に合わせて玩具を調節し、落ち着いて遊べるようコーナーを充実させる。
支援者	<ul style="list-style-type: none"> ・園の様子や家庭での様子、生活リズムなどを互いに伝え合いながら園と家庭との生活を繋げ、信頼関係を育んでいく。 		<ul style="list-style-type: none"> ・噛みつきやひっつきは成長段階で生じるものであることを伝え、クラスでの対応を知らせていく。 ・暑さで疲れや生活リズムが乱れやすいので健康状態や食欲の有無、睡眠などの情報を共有する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・流行している感染症やその対策など、子どもの様子を伝え合い、家庭との連携を密にしておく。 ・気温差があるので、調節や着脱のしやすい衣服を用意してもらう。 ・自己主張する姿を受け止め、共感しながらかかわっていることを伝え、子どもの発達を理解してもらえようとする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのことを自分でやろうとする姿を伝えるときも、甘えたい気持ちを受け止め、思いに寄り添う大切さも共有する。 ・保育者や友だちとのやりとりの様子を丁寧に伝え、子どもの成長を感じられるようにする。 		
食育	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの食事の様子を知り、食事の量や具材の大きさを変えるなど、食べやすいように配慮する。 ・落ち着いた雰囲気の中で保育者に食べさせてもらったり、手づかみやスプーンで食べようとする。 ・食前、食後の挨拶を動作や言葉で表そうとする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気の中で、友だちや保育者との食事を楽しむ。 ・自分で食べようとする姿や、食具を使おうとする姿を認め、食べる意欲がもてるようにする。 ・収穫した野菜を見たり、野菜スタンプ製作等を通して本物に触れ食事に親しみを持つ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・空腹や満腹を感じながら、食事する事を楽しむ。 ・量を減らしてもらったり周りから励まされたりしながら苦手な物も少しずつ食べてみようとする。 ・食具の持ち方やスプーンの一口量を知らせてもらいながら意欲的に食べる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・苦手な物が少しでも食べられた時には「すごいね」と保育者に認められながら嬉しい気持ちを共有する。 ・食具の持ち方が上手になり、最後まで自分で食べようとする。 		

2022年度年間指導計画

【2歳児】		園長		主任		担任		
年間目標 (育てたい子どもの姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・保健的で安全な環境を整え安心できる保育士との関係のもとで基本的な生活習慣が身につくようにする。 ・生活や遊びの中で言葉のやりとりをしながら、友達関係を広げていく。 ・体を動かしたり、表現したりする楽しさを味わう。 ・身近な自然との関わりの中で意欲的な活動をすると共に、命を大切にすることが育てる。 		園目標	<ul style="list-style-type: none"> ・元気で明るい子(たっぶり遊んで、よく食べて、ぐっすり眠る) ・意欲を持って行動できる子(十分に育ちを見守られながら、さまざまな体験を通して、豊かな感性を育てる) 		評価・反省		
	期	1期(4月～5月)		2期(6月～8月)	3期(9月～12月)		4期(1月～3月)	
	行事	身体測定、避難訓練、誕生会、入園式、こいのぼり集会、内科検診		身体測定、避難訓練、誕生会、七夕集会、夏まつり、懇談会、水遊び、懇談会	身体測定、避難訓練、誕生会、内科検診、運動会、クリスマス会、ハロウィン		身体測定、避難訓練、誕生会、節分集会、生活発表会、ひな祭り集会、お別れ会、卒園式	
	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者に見守られ、安心して過ごす中で、新しい環境や生活に慣れる。 ・自分の好きな遊びを楽しんだり、友だちの遊びに興味をもったりする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・保育者に手伝ってもらいながら身の回りのことをしようとする。 ・水や砂、土などに触れ全身を使って楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者の言葉掛けで身の回りのことを自分でしようとする。 ・生活や遊びの中で保育者が立ちとなり友だちとのやりとりを楽しむ。 ・簡単なきまりや約束を守る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣が身に付き、進級への期待をもって生活する。 ・冬の自然に親しみ、ごっこ遊びや集団遊びを楽しむ。 ・生活や遊びの中で表現する喜びを味わう。 	
	養護	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス流行防止のため、手洗い、消毒など行い一人ひとりの健康状態や生活リズムを把握し、健康に過ごせるようにする。 ・子ども一人ひとりの手洗いを見守り、援助しながら正しい習慣が身に付くようにする。 ・不安や欲求を保育者に受け止めてもらい、安心して生活する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・夏季の保育衛生や健康状態に気を配り、水分補給や休息など活動のバランスに配慮する。 ・子ども一人ひとりの気持ちを受け止めて安心して自我を表現する。 ・汗をかいたらシャワーで流し、清潔に過ごす。心地良さをを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気温の変化に合わせて室温や衣服の調節をし、健康で快適に過ごす。 ・子ども一人ひとりの気持ちを受け止め、安心して自己主張をする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりの手洗い・うがいを見守り正しい習慣が身に付くようにする。 ・やりたいこと、やってみたいこと、感じたことを言葉に出し、保育者や友だちと一緒に楽しんだり、共感することで自己肯定感をもてるようにする。 	
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・室内や戸外でのびのびと体を動かして遊ぶ。 ・トイレで排泄できたことを喜び気持ち良さを感じる。 ・保育者の言葉掛けでトイレに行き見守られながら排泄をする。 ・保育者に甘えや不安を受け止めてもらいながら安心して自分の気持ちを表す。 ・春の草花や虫など、自然物を観察したり触れたりする。 ・保育者に絵本や紙芝居を読んでもらうことを喜ぶ。 ・保育者とかかわりながら簡単な挨拶や生活に必要な言葉を知り伝えようとする。 ・音楽に合わせて体を動かすことを楽しむ。 ・保育者と一緒に歌を歌ったり手遊びをしたりして楽しむ。 ・遊びや生活の中で様々な形や色に興味を持つ。 ・ちぎったり丸めたり型にはめたり指先を使った遊びを楽しむ。 ・砂遊びを通し砂の感触を味わう。 ・リズムや体操などの表現遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水遊びや戸外遊びで全身を使って遊ぶ事を楽しむ。 ・オムツで排泄したことを伝え交換した気持ち良さを知る。 ・保育者に見守られたい手伝ってもらいながら衣服の着脱を自分でしようとする。 ・保育者や友だちと一緒に見立て遊びやごっこ遊びをする中で少しずつ言葉のやりとりを楽しむ。 ・水や砂、土などの感触を味わいながら、全身を使って夏の遊びを楽しむ。 ・自分のしたいことや、して欲しいことを簡単な言葉や仕草で伝えようとする。 ・のりづけやスタンプ、お絵描きなど色々な素材に触れる。 ・七夕や夏祭りなどの行事に親しむ。 ・好きな歌や手遊びを歌って楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巧技台や遊具などを使って全身を動かし運動遊びを楽しむ。 ・尿意や便意が分かり、自らトイレに行って排泄しようとする。 ・パンツやズボンの脱ぎ履きを自分で行う。 ・同じ場で遊ぶ友達の気持ちを知り、遊具や玩具を貸したり、順番を守り交代したりして遊ぼうとする。 ・保育者や友だちといろいろなやりとりを楽しむ中で言葉を覚える。 ・戸外遊びや散歩を通して、落ち葉や木の実などを集めたり、それらを使って遊んだりして秋や冬の自然を楽しむ。 ・生活に必要な言葉が分かり、様々なことに関心をもつ。 ・身近な素材や用具に親しみ、描いたり切ったり作ったりを楽しむ。 ・絵本の中の登場人物になりきって体を動かしたり、台詞を言ったりすることを楽しむ。 ・光・雲・影などの自然現象に興味を持ち、発見や観察など遊びにつなげて楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友だちと一緒に簡単なルールのある集団遊びを楽しむ。 ・トイレでの排泄に自信を持ち、トイレの使い方を覚えて、正しく安全衛生的に使う。 ・手洗い、うがい、衣服の着脱など、身の回りのことを自分でしようとする。 ・保育者や友だちと一緒にごっこ遊びや伝承遊びをして楽しむ。 ・水、霧、水の冷たさなど冬の自然に興味や関心をもち、見たり、触れたりする。 ・思ったことや感じたことを身振り手振りを交えながら言葉で伝えようとする。 ・のり、はさみ、クレヨンなどの材料や用具を使い、自分なりに表現する。 ・経験したことや興味のあることを保育者や友だちと表現して遊ぶ。 ・自分の思いを表しながらも、相手の表情などを見て相手の思いにも気づこうとする。 ・年上の友だちとの関わりの中で憧れや朝顔でもようとする気持ちが芽生える。 ・様々な遊びの中で、「〇〇したい」と選択し遊びを見つけようとする。 				
環境構成と配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して生活できるよう、ゆったりとした生活リズムと雰囲気づくりをする。 ・子ども一人ひとりが好きな遊びを見つけられるようコーナーを作ったり、色々な種類の玩具などを用意していく。 ・個々の排泄のタイミングや様子に応じて誘いの工夫をしていく。 ・散歩などで春の自然に親しむ機会をつくと同時に図鑑や絵本等を通して興味、関心が継続するよう工夫していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりの生活リズムや健康状態を把握し、水分補給や休息をとる。 ・また、適切な気温、湿度を保つ。 ・子どもの興味に合わせた玩具や素材を十分に用意し、じっくり楽しめるようにする。 ・身の回りのことを自分でしようとする気持ちを大切に、さりげない援助をしたりして達成感が味わえるようにしていく。 ・七夕や夏祭りなどの行事に親しめるよう環境設定を行う。 ・くり返し遊びを楽しむ中で、子どもの気づき、発見や驚きに寄り添い言葉をかけながら共感する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巧技台を組み合わせて発達に適した環境を設定する。 ・子ども同士のやりとりを大切に、ぶつかり合いを経験しながら相手の気持ちに気付いたり、考えたりできるように一緒に考えながら関わる。 ・子どもの表現しようとする気持ちを受け止め、満足感を得られるようにする。 ・好きな遊びを選択していけるようどういう遊びがあるのかなど提案していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い・うがいの大切さややり方を知らせる機会をもつ。 ・子どもが興味を持ちそうな発達に合った集団遊びを取り入れる。 ・子どもの発見や驚きに耳を傾けて共感しながら言葉にして伝え、体験が深まるようにする。 ・模倣遊びなどが発展するように小道具などを十分に用意して遊びのイメージを広げる。 ・幼児クラスの友だちと関わりを増やしていく。 				
支援者	<ul style="list-style-type: none"> ・園での様子を伝えていき、信頼関係を深めていく。 ・支度の変更点など分かりやすく口頭や掲示で伝えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の子どもの様子を伝えあい夏の時期の体調管理についても知らせていく。 ・子どもが自分で着脱しやすい衣類を用意してもらう。 ・トイレトレーニングやトイレでの排泄状況を伝え、家庭での様子も聞いていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士のトラブルがあった場合、その時の様子や対応などを丁寧に伝え、園での様子を知ってもらう。また、家族での様子も聞き共有していく。 ・体調や気候に合わせて調節しやすい衣服を用意してもらう。 ・エプロンの枚数の変更点など口頭やメモにして伝えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達や成長の様子を伝え、喜び合いながら不安なく進級できるように連携していく。 ・インフルエンザやコロナウイルスの感染状況を知らせる。 				
食育	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりの好き嫌いや食べる量を把握し、子どもの様子を見ながら量の調節をしていく。 ・保育者や友だちと楽しい雰囲気の中で食事をする。 ・野菜の図鑑や様々な食べ物がでてくる本などを読み、食べ物への親しみを持てるようにする。 ・野菜スタンプでの製作を取り入れ、本物を見たり触ったり嗅いだりする。 ・食事の前後の挨拶をする。 ・姿勢を正しながら、落ちついて食事をする。 ・タオルで口や手を拭いて清潔にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気の中で食べ物に関心を持ち、スプーンやフォークを使ったり、正しく椅子に座ったりして自分で食べようとする。 ・プランターでの栽培をして夏野菜に親しみを持ってみたり野菜スタンプ等を行い遊びの中でも食材に触れていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な食材に触れ食への関心を高めていく。 ・スプーンやフォークの持ち方、食器に手を添えることを覚え意欲的に食べる。 ・苦手な食材も小さくしたり、一口頑張ろうと励ましつつ、食べてみようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事のマナーや正しいスプーンやフォークの持ち方が習慣づいていくようにする。 ・苦手な食材も励ますと食べられるようになる。 ・エプロンがなくなり、テーブルや床に食べこぼしがないように食事を心掛ける。 				

2022年度年間指導計画

【3歳児】		園長		主任		担任			
年間目標 (育てたい子どもの姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・保健的で安全な環境を作り、情緒の安定のもと、生活に必要な基本的な習慣を育てる。 ・戸外遊びなど遊びの中で、体を動かす楽しさを味わう。 ・生活や遊びの中で友達との関りを広げていく。 ・自分の思い、要求、経験などを言葉や様々な活動で表現する。 		園目標	<ul style="list-style-type: none"> ・元気で明るい子(たっぶり遊んで、よく食べて、ぐっすり眠る) ・意欲を持って行動できる子(十分に育ちを見守られながら、さまざまな体験を通して、豊かな感性を育てる) 		評価・反省			
	期	1期(4月～5月)		2期(6月～8月)	3期(9月～12月)		4期(1月～3月)		
行事	入園・進級式、誕生会、こいのぼり集会、内科検診、親子交流会(クラス懇談会) 身体測定、避難訓練		歯科検診、誕生会、水遊び、七夕集会、夏祭り、身体測定、避難訓練		運動会、さつまいも掘り、内科検診、歯科検診、クリスマス会、避難訓練、ハロウィン 誕生会、身体測定、避難訓練		誕生会、節分、生活発表会、ひな祭り、お別れ会、卒園式、身体測定、避難訓練		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・喜んで登園する中で園生活の流れがわかり安心して快適に生活する。 ・健康で安全に過ごせる環境の中で気持ちを受け入れてもらい楽しい生活を送る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・思ったことややりたいことを言葉で伝えようとする。 ・水遊びやプール活動で夏の遊びを楽しむ。 ・午睡や水分補給などで休息を取り心身の疲れをいやす。 		<ul style="list-style-type: none"> ・秋の自然に興味・関心を持ち保育者や友だちと戸外遊びを楽しむ。 ・季節に変化に応じて衣服の調節を適切に行い快適に過ごす。 		<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのことに自信を持って取り組もうとしたり友だち同士声を掛けたり手伝ったりしてできた喜びを感じる。 ・進級に期待を持ち意欲的に生活する。 ・異年齢児との関りの中で年下の子に優しく接しようとする。 		
養護	生命 情緒	<ul style="list-style-type: none"> ・新入園児は園の生活に慣れ、初歩的な健康や安全の習慣に徐々に慣れる。 ・子ども1人1人の健康状態を把握し、体調の変化を感じた場合は適切に対応する。 ・子ども1人1人の気持ちを受け止め安心して過ごせるようにする。 ・感染症予防のうがい・手洗い・消毒をすることで健康に過ごす。 		<ul style="list-style-type: none"> ・梅雨期の衛生身の回りの清潔に注意し衛生習慣を身に付ける。 ・遊びを通して友だち思いに気づき関わるようにする。 ・園が自分の気持ちを素直に表せる安心の場となるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・友だちへの関心が深くなり一緒に遊ぶ中でいろいろな気持ちに気づき上手に関わろうとする。 ・行事を通して成功や失敗を経験し成長する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・自分のできる事は積極的にに行い褒められることで自信を持てるよう十分認めていく。 ・進級後に期待できるように成長を認め自信を持って生活できるようにする。 ・様々な活動を通して友だちと協力する経験をする。 ・風邪やインフルエンザ等 流行する時期なので、手洗いうがいの意味を確認し、丁寧に伝えるように伝える。 	
教育	言葉 健康 表人間 関係 環境	<ul style="list-style-type: none"> ・春の自然に触れながら戸外で身体を動かして遊ぶ。 ・食事・排泄・午睡・手洗い・衣服の着脱等保育者に見守られ援助されながら自分でしようとする。 ・挨拶や返事などの生活に必要な言葉を使う。 ・してほしい事や自分の思いを保育者に伝えようとする。 ・保育者と一緒に歌を歌ったりリズム遊びなど体を動かすことを楽しむ。 ・保育者や友だちと簡単なルールのある集団遊びを楽しむ。 ・野菜の栽培を通して、植物の育ちに興味を持つ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・水遊びやプール活動などの夏の遊びを楽しむ。 ・生活や遊びの中で決まりが分かり守って遊ぼうとする。 ・上のクラスの子に刺激され運動遊びに意欲的に挑戦する。 ・物や場所の取り合い等、様々なトラブルを経験しながら友だちの気持ちや存在に気がついたり知ったりする。 ・遊具や玩具の使い方を知り片づけたり大切に使うことしたりする。 ・七夕や夏祭りに興味を持ち自分は何をしたいか話したり一つの物を作る喜びや達成感を味わったりする。 ・簡単な文字や数字に興味を示す。 		<ul style="list-style-type: none"> ・食事、排泄、手洗い、うがいなどの手順や意味を理解し一人で出来る。 ・友だちや異年齢児と関わって活動し年上の子の姿を真似したり簡単な決まりを守ったり、ごっこ遊びやゲームを楽しむ。 ・その中で優しさやリーダーシップを経験する。 ・生活や遊びの中で文字や数、図形や量などに関心を持ち色々な場面で使ってみようとする。 ・秋の自然に触れたり、自然物を使って製作など表現することを楽しむ。 ・自分と友だちが使っているものとの区別を知り、少しずつ貸し借りをできるようにする。 ・自分の名前を理解し、ひらがなへの興味を持つ。 ・素材や道具の使い方に気づき丁寧に扱う。 ・廃材を自分で準備し、想像しながら製作を楽しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・寒さに負けず十分に体を動かして遊ぶ。 ・生活の流れがわかり見通しを持って自分から意欲的に身の回りのことに取り組もうとする。 ・友だちとの関わりの中で相手の気持ちに気づき我慢することを覚える。 ・相手にわかりやすく話すことの大切さに気付く。 ・友だちと一緒に遊びの場を作ったり探したりそれぞれのイメージを出し合ったり遊ぶことを楽しむ。 ・異年齢児との交流が広がり相手を思いやり優しく接しようとする。 	
環境 構成 と 配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた生活が出来るよう、ゆったりとした時間を設定する。 ・持ち物の置き場所など各自のマークをわかりやすい場所に貼る。 ・子どもが興味を持ちそうな発達に合った集団遊びを取り入れる。 ・一人ひとりにわかりやすいよう繰り返し生活習慣を伝えていく。 		<ul style="list-style-type: none"> ・安全に留意しながら水遊びやプール遊びを存分に楽しめるようにする。 ・また、言葉で伝わりにくいことは、手順等を図で表して掲示をし、理解できるように工夫する。 ・子どもが快適に過ごせるよう配慮し子供自身が自分の体調を伝えられるように考えるきっかけを作る。 ・水と親しみ、解放感や楽しさを味わえるようにする。 ・子ども達が自由に材料を取りに行き、製作できるような環境をつくる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・運動会という場で日頃から頑張っているものを見てもらい更なる自信ややる気に繋げる。 ・どんぐりや落ち葉などが落ちている公園へ行き秋の自然に触れられるようにする。 ・本や表を見て自分の名前を探すゲームをする等、ひらがなに触れる機会を作る。 ・子ども達の製作意欲を大切に、イメージを具体化できるように手伝うなど満足感を味わえるようにしていく。 		<ul style="list-style-type: none"> ・冬を健康に過ごせるよう衣服の調節や室温、換気気をつける。 ・1人1人の生活習慣を見直して確認する。 ・遊びの中で数量や文字に対する関心が高められるような環境作りをする。 		
支援者	保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者も新しい環境に不安を抱かないように送迎時やホワイトボードなどを通して子供の日々の様子を細やかに伝える。 ・子どもの様子をこまめに伝え、保護者とのコミュニケーションを大切にします。 		<ul style="list-style-type: none"> ・プール活動が始まり持ち物も増えるので使用する物を分かりやすく掲示するとともに記名の確認もお願いしていく。 ・子どもの体調についても家庭との連携を取り合う。 ・保護者の子育てに関する思いなどを受け止め共感していく。 		<ul style="list-style-type: none"> ・行事への取り組みを伝えながら子どもの成長発達を園と家庭で共通理解できるようにする。 ・手洗いうがいの必要性を伝え家庭でも取り組んでもらえるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・感染症が流行する季節であるので子どもの健康状態を伝え合う。 ・1年の成長を喜び合い理解、協力への感謝の気持ちを伝える。 ・進級に対して期待感を持てるよう、子どもと保護者の思いを大切にします。 	
食育	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友だちと一緒に楽しく食べる。 ・様々な食材や料理の名前を知る。 ・野菜を育てたり野菜の生育を見ながら食に興味を持つ。 ・食器に手を添え、姿勢良く食べる。 ・収穫の喜びを感じ、みんなで分け合って食べる楽しさを味わう。 ・自分の食器を自分で片付ける。 		<ul style="list-style-type: none"> ・食事前の挨拶の意味を伝え、意欲を持ってできるようにする。 ・自分達で育てた野菜を収穫し味わったりする。 ・食べ終わる時間などを意識しながら食事をする。 ・箸を使った遊びを取り入れながら食事の際に箸を使えるようになる。 ・箸を使った遊びを取り入れる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・完食する喜びを重ね食べる意欲を持つ。 ・芋堀を体験して、みんなで収穫したものを皆で食べる嬉しさや楽しさを味わえるようにする。 ・「少なくする」「3つください」など、自分で食べられると思う量などを保育者に伝える。 ・少しずつ箸を使えるようになる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の食べられる量がわかり好き嫌いをなく食べる。 ・食べこぼしに気を付け気持ちよく食事する。 		

2022年度年間指導計画

【4歳児】		園長		主任		担任			
年間目標 (育てたい子どもの姿)	<ul style="list-style-type: none"> 情緒の安定をもとに、自分らしさを十分に発揮しながら、喜んで活動に取り組む。 全身を動かして遊ぶ楽しさを味わい、保育者や友だちとの関わりを深める。 身近な自然や社会の出来事に関心を持ち、見たり触れたりして心豊かに過ごす。 色々な経験を通じて、生活に必要な身近な言葉や優しい言葉使いを身につけていく。 		園目標	<ul style="list-style-type: none"> 元気で明るい子(たっぷり遊んで、よく食べて、ぐっすり眠る) 意欲を持って行動できる子(十分に育ちを見守られながら、さまざまな体験を通して、豊かな感性を育てる) 		評価・反省			
	期	1期(4月～5月)		2期(6月～8月)	3期(9月～12月)		4期(1月～3月)		
行事	入園・進級式、こいのぼり集会、内科検診、避難訓練、サッカー教室、親子交流会(クラス懇談会)、誕生会、身体測定		歯科検診、水遊び、七夕集会、夏祭り、誕生会、身体測定、避難訓練		運動会、さつまいも掘り、内科検診、ハロウィン、クリスマス会、誕生会、身体測定、避難訓練		・節分、生活発表会、ひな祭り、お別れ会、卒園式、誕生会、身体測定、避難訓練		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 進級を喜び、新しい環境に慣れ安心して過ごす。 気の合う友だちや保育者と春の遊びや好きな遊びを楽しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> 梅雨や夏ならではの遊びを安全に思いきり楽しむ。 身の回りのことに進んで取り組みながら、健康や清潔を意識し、自ら快調に過ごそうとする。 		<ul style="list-style-type: none"> 友だちとイメージや目的を共有し、関わり合いを楽しむ。 秋の自然に触れ、植物の名前を言ったり教えたりする。 目的をもって行事に臨み、努力や思いやり、協力することを味わい成功や失敗を経験する。 		<ul style="list-style-type: none"> 生活や遊びの決まりを守り、生活習慣を身に付け進級することへの自信を持つ。 相手の気持ちに気付き思いやる心を持つ。 自分なりのイメージを持って、友だちと伸び伸び表現する喜びを味わう。 		
養護	生命 情緒	<ul style="list-style-type: none"> 健康や安全の大切さを知らせ、危険や安全の約束事を確認する。 進級にともなう不安や期待を保育者に受け止めてもらいながら安心して過ごせるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> 衣類の調節をこまめにして体調を崩さないようにする。 暑さ対策をして、日射病などにも気を付けながら水の事故防止に努める。 友だちとのつながりを大切にしながらお互いの良さを認め合えるようにする。 保育者とのやり取りを友だちを交えて楽しみ、友だちとの遊びの場を広げていく。 		<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達に合わせ、全身を使う運動を多く取り入れ、体を動かす楽しさを感じる。 運動量が増えるので、休憩を十分に取って、体調を崩したり、怪我をしったりしないようにする。 行事を通して友達との関りを深めながら、徐々に自分を発揮できるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> 手洗いうがいをしっかり行い、換気や清掃でも感染症の予防に努めていけるようにする。 自分で選択し自発的に活動に取り組む中で、達成感や満足感を味わえるようにする。 	
		教育	健康 人間関係 環境	<ul style="list-style-type: none"> 歩く、走る、跳ぶなどの全身を使った運動遊びを十分に楽しむ。 保育者との1対1の関わりの中で親しみを持って安心して過ごす。 描いたり作ったりしたものを遊びに使ったり、飾ったり、見せ合ったりする。 新たな生活リズムや環境に自ら関わり身の回りのことを自分で行う。 季節歌をピアノやCDの音に合わせて歌うことを楽しむ。 経験したことや興味のあることを話し、保育者や友だちと喜んで会話をする。 身近な自然、環境への関わりや遊び方を体験していく。 		<ul style="list-style-type: none"> 体の健康に関心を持ち、異常を感じたときは保育者に伝える。 体調の変化に気づき、保育者の力も借りながら汗を拭いたり、水分補給したりする。 夏の遊びを楽しむ中でお互いにアイデアを出し合い友だちとの関わりを深める。 自分のしたいことや感じたこと、経験などを保育者や友達に話し、伝える喜びを味わう。 集団生活に必要な決まりを当番活動やグループ活動を通して知る。 人の話を聞くことや自分の考えを相手に伝えるように話すことの大切さを知る。 		<ul style="list-style-type: none"> できないことをできるようになろうと挑戦したり、目標を見つけて取り組む経験をする。 友だちと競い合ったり、力を合わせてやり遂げたりしながら達成感や満足感を味わう。 積極的に園外へ出掛け、自然環境に興味を持って伸び伸びと遊ぶ。 文字や数、量や図形で遊ぶことを楽しむ。 イメージをした上で作る、描く、試すなどを経験し想像力を豊かにする。 又、共通のイメージをもとに遊びを楽しむとする。 友だちと共通の目的に向かって、協力する大切さやおもしろさを知る。 	
環境 配慮	<ul style="list-style-type: none"> 興味を想定してコーナーごとにいるような道具や粗材を用意しておく。 個々の心の動きをあたかく受容、共感しながら子供たちの安定した活動へとつながるようにする。 初めての活動へ取り組む際や初めての用具・玩具を使う時は、集まりの場を設けて伝えていく。 挨拶など何気ないやり取りの中で十分なスキンシップを取り、信頼関係を築いていく。 			<ul style="list-style-type: none"> 持ち物の整理や片付けを確認しながら、丁寧にやる大変さを伝える。 子どもたちと一緒に遊びの安全面を意識したルールを作る。 子ども達の様々なアイデアを取り入れながら柔軟に遊びに発展させていけるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> 簡単なゲームや伝承遊びを通して、大勢で遊ぶことを楽しみ、仲間同士での交流を深められるようにする。 時には我慢をしたり、折り合いをつけることで楽しく遊べることに気付けるようにしていく。 子ども達のイメージやアイデアをくみ取り、難しい部分は一緒に行って、表現する楽しさへとつなげていく。 氷、雪、霜等の冬から春への自然現象の機会を逃さずに取り上げ、季節の移り変わりを体感できるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> 発表会や様々な役割分担を通じてみんなで一つの目標に向かえるようにしていく。 お互いの成長を認め合えるようにしながら進級への期待感もてるようにする。 友だちとアイデアを出し合う機会を作り、自己主張を認めていくことで、自信が持てるようにする。 友だちの遊び、挑戦している姿を伝え、刺激を与えたり、共に目標を見つけていく。 	
	支援者	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の思いを聞いたり、子どもの様子を伝えたりしながら安心して預けられるよう信頼関係を築いていく。 園と家庭で連携して進めたいことを意味づけとともにお知らせする。 		<ul style="list-style-type: none"> プールや衣服などの準備を整えてもらい、安全にプールや水遊びが行えるよう連携する。 保育参加等で園の様子を知り、保育の姿を共通理解できるようにする。(感染状況による) コロナ対応での食事の仕方や取り組みについて共有し、安心して過ごせる様にする。 		<ul style="list-style-type: none"> 行事等での子どもの姿を見てもらい、当日までの努力の過程などを伝え、生長を共に喜ぶ。 生活リズムを整え、疲れが残らないよう睡眠の大切さを伝えていく。 		<ul style="list-style-type: none"> 一年間の園に対しての協力に感謝をし、成長を共に喜ぶ。 個人面談を通し、成長を伝え、次への期待を持てるようにしていく。 ★送迎時、なるべく顔を合わせて、直接子どもの様子を伝えやり取りを行う。 	
<ul style="list-style-type: none"> 絵本や図鑑等で野菜について知識を得ながら野菜の苗植えの話し合いをする。 食事のマナーや箸の持ち方などに気を付け、意欲的に食事をすすめる。 		<ul style="list-style-type: none"> 調理前の食材に興味を持ち、育てた野菜の成長を観察したり、収穫した野菜を調理し食べる事を楽しむ。 食器の持ちかたや並べ方がわかり、意識を持って正しいマナーで食べようとする。 		<ul style="list-style-type: none"> 食の面からも秋を感じ、季節と食との繋がりを深める。 食前・食後の準備や片付けを行い、食事への関心、意欲を高める。 		<ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統的な料理への関心を高める。 友だちと一緒に食べることを楽しみ、人との交流を通した楽しい食事の大切さを知る。 			